



つきぐみつうしん 1月

令和4年1月4日（火）
尚徳福祉会 井荻保育園

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします



年末年始のお休みが終わり、静かだった保育室にも子どもたちの歓声が戻り、また共に過ごせることを嬉しく思います。昨年末には「お楽しみ会」がありました。内容は「三びきのヤギのがらがらどん」のペープサートと、「きらきら星」やクリスマスソングのハンドベル演奏。子どもたちは1点集中、「ピクリ」ともせず鑑賞していました。ペープサートでは少しドキドキする場面でも、そっと目を閉じたり顔をしかめたり、手で顔を覆ったりと様々でした。ハンドベルの演奏ではみんな目をキラキラさせて、じっと聴き入っていました。演奏が終わると大きな拍手と「ワー」という声とともに「イエーイ！」と大喝采。アンコールが出るほどの大盛り上がりでした。昨年の1歳ほし組の時の反応とは大違いでした。「人の話しを聞く」ということを積み重ねてきて良かったとつくづく思うとともに、子どもたちの成長のすごさを改めて実感しました。

今年度もあと3か月、乳児クラス最後となるこの期間を、幼児組に進級することを視野に入れながら、大切に過ごしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

今月のねらい

- 寒さに負けず、友だちと一緒に体を動かす
- 身の回りの事を自分でしようとする



12月お楽しみ会のプレゼント

つき組には紙芝居のプレゼントが来ました。内容は働くクルマや乗り物です。クラスで散歩に出かけると、いろいろな乗り物に興味津々、そして保育室にいると外からサイレンが時々聞こえてきます。すると「今のは救急車？ それともパトカー？」とそこから会話が広がります。紙芝居のプレゼントが届くと子どもたちは大拍手。これからも子どもたちの大好きな紙芝居をたくさん読み、楽しく過ごしていきたいと思います。



つき組の会話のひとコマ

土・日と2日間のお休みが終わった月曜の朝は、「〇〇に行ったよ」「〇〇を食べたよ」などと、お休みの日にあったことを話したくて、話の花が咲きます。話の途中でお友だちが会話を重ねてくると、「ちょっと待って（怒）、今〇〇が話しているんだから」となり、順番待ちとなります。

つき組の男の子たちは車や電車に興味のある子が多く、一人が「鉄道博物館に行った」と言うと「ぼくも行ったよ」と話が盛り上がります。「私も行きたいな」と担任がつぶやくと、一人の子が「あのね男の子じゃないとダメなんだよ。だから少し待っててね」と言いました。そこで「じゃあ、ぼくも行きたいなあ」と担任が再び言ってみると、「先生は女の子でしょ？ ワタシと言わなきゃダメよ」と諭されてしまいました。このような会話が続いて「仕方ないな」と思ったのか、「じゃあ今度先生も一緒に連れて行ってあげるよ！」と誘ってくれたのです。何気ない会話のやりとりにも成長が感じられ、頼もしいつき組の子どもたちです。